



平泉中1年生
あべ 蒼介 さん

— Voice —

今後も古里について学びたい

正しい姿勢で集中力を保つのはすごく疲れましたが、世界遺産の毛越寺で座禅が体験できて良かったです。今後も平泉の文化遺産や伝統行事など、古里について学びたいです。



① 静まり返った毛越寺本堂で座禅を体験する平泉中1年生/② 写経体験では生徒たちが一文字一文字を丁寧に書き写していた/③ 心静かな時間を過ごす



平泉中1年生
みつおか なつき さん

— Voice —

平泉に住んで良かった

発掘調査では土器の欠片を発見することができず残念でしたが、とても楽しかったです。身近でこのような体験ができるので、平泉に住んで良かったと思います。今後もできる限り地域に貢献したいです。



① 町内の遺跡で作業員に教わりながら発掘作業に汗を流す生徒たち/② 約1時間の発掘体験で出土した多くの土器片/③ 作業中に土器片を見つけ喜ぶ生徒

「百見は一見にしかず」ということわざがあるように、何度も繰り返し話を聞くよりも、一度実際に自分で見た方が理解が深まります。平泉学では見たり聞いたりするだけでなく、さらに興味や関心を高めるため、実際に体験することを大事にしています。まさに「百見は一体験にしかず」です。中でも特徴的なのが、「わくわく平泉学スクール」の一環として平泉中学校1年生が取り組んでいる「写経・座禅体験」「発掘・拓本体験」です。

1年生64人は7月9、10日の両日にわたって2組に分かれ、町内の僧侶を講師に写経と座禅を体験。生徒たちは背筋を伸ばして呼吸を整えたり、慎重に筆を運んだりしながら心静かな時間を過ごしていました。また9月11、12日には町内の遺跡で発掘や拓本作業も体験しました。実際の遺跡に触れながら、発掘作業員から調査のノウハウなどを学び、泥だらけになりました。日々、当たり前のように遺跡に囲まれた中で生活している生徒たち。平泉ならではの体験を通して、平泉の価値や魅力を再発見しています。

「郷土・平泉学」の構想

平泉中学校では、「郷土・平泉学」を通じて、地域を見つめ地域を大切にしようとする態度を培い、将来の平泉を担う人材の育成につなげています。

学年(主題)	学習の概要
1学年 (過去を知る)	▷ 平泉遠足(史跡と文化財の見学)▷ わくわく平泉学(写経・座禅・発掘体験)▷ 平泉学検定▷ 平泉歴史探検(発表)
2学年 (今を見つめる)	▷ 水地学習(水害対策・地域防災)▷ 平泉ガイド学習▷ 大文字火床づくり(PTA行事)▷ 平泉紹介パンフレット作りーなど
3学年 (未来に広げる)	▷ 修学旅行での平泉アピール活動▷ 夢あかり▷ 平泉ガイド体験(自分たちの言葉で平泉を紹介)

伝統芸能に触れる

郷土芸能体験講座

郷土芸能の次世代への継承を目的として、町教育委員会が小中学生を対象に、2015年度から開設している講座。受講生は町内の達谷地区に伝わる「達谷窟毘沙門神楽」を習得するため、基本的な動作や舞い方などを学んでいます。



御神楽を披露する受講生たち

Interview



「わくわく平泉学スクール」
発掘・拓本体験 講師
平泉文化遺産センター
しまはら ひろゆき
島原弘征
主査文化財調査員

平泉でしかできない特別な体験

町内の遺跡からよく出土する素焼きの土器「かわらけ」も、他の地域ではなかなか出土することがない貴重な遺物です。普通は博物館などで、ガラス越しに遺物を見ることしかできません。そのため平泉中学校の生徒のように実際に自分で発掘し、土器の欠片などを見つけるといふ経験は、このまちでしか体験できないとても特別なことです。

身近な文化財に直接触れることで平泉文化により親しみを感じてほしいです。



今自分たちが住んでいる場所がどういふ場所かを知ることによって、地域への誇りが生まれます。これからの町の未来を担っていく平泉中学校の生徒たちは、これまでの学習を通じて、自らが平泉の情報を発信できる人へと着実に成長しています。

第4章

ずっとこのまちで育ってきた



① 笑顔でガイドをする平泉中3年生/② 観光客を相手に観自在王院跡で平泉の歴史について説明/③ 誘導や説明などそれぞれの役割を決め、話す内容も生徒たち自身で考えている/④ 平泉を訪れた人たちに平泉の魅力を自分の言葉で伝える

古里を発信できる人へ成長

各年代別に系統立てた平泉学の集大成となる中学校生活。平泉中学校では学年ごとに「過去を知る」「今を見つめる」「未来を広げる」と題して、より具体的な学習を展開しています。

1年生はテキストや平泉学検定で歴史と文化を学び、2年生は平泉大文字送り火の火床づくりに参加するなどし、現在の平泉を感じます。そして3年生では、町内の各史跡で町を訪れた人たちに平泉の魅力などを伝えるガイド体験を行います。

10月6日に実施された平泉ガイド体験では、3年生60人が毛越寺、柳之御所遺跡、観自在王院跡、無量光院跡、高館義経堂、道の駅平泉の6カ所に分かれて観光客らを案内。生徒たちは、この日に向けて史跡ごとの説明の要点、ガイドのこつや心構えなどを学び、練習を積んできました。最初は緊張して小声になる生徒もいましたが、慣れてくると大きな声で分かりやすく説明し、観光客らの質問にも丁寧に答えていました。

平泉の歴史や文化など、これまで学んだ内容を通して、一人一人が古里「平泉」を発信できる人へと成長していました。